

エキサイトよこはま22における7つの『まちづくりの戦略』について具体的なアクションプログラムを導くために、
優先的な取組み(案)を設定。

1. アクションプログラムを導く手順

エキサイトよこはま22における
『まちづくりの戦略』

1. 横濱中心戦略
2. 環境創生戦略
3. 安全安心戦略
4. 感動空間戦略
5. 悠々回遊戦略
6. 交通転換戦略
7. 協働共創戦略

東日本大震災

「国際戦略総合特区」提案
(アジア・グローバルシティ等)

「環境未来都市」提案
(横浜スマートシティプロジェクト等)

特定都市再生
緊急整備地域の創設

優先的な取組みを設定する際
のポイント

「災害安全性の強化」
「国際競争力の強化」

優先的な取組み(案)の設定

アクションプログラムの策定

2. 優先的な取組みを設定する際のポイント

1. 世界に信頼される横浜都心の 災害安全性の強化

- 3/11に発生した東日本大震災により、災害対策の重要性が再認識された。
- 横浜都心部においても、津波、帰宅困難者対応等に関する課題が明らかになった。
- 国内外の人や企業から選ばれるまちとなるためには、3/11での課題も踏まえた災害安全性の強化が求められる。

2. 国内外の企業に選ばれる横浜独自の 国際競争力の強化

- 国の新成長戦略等において、国際競争力の強化が喫緊の課題とされている。
- 都市再生特別措置法改正等に伴い特定都市再生緊急整備地域の創設、国際戦略総合特区の新設が予定されている。
- 横浜都心部では羽田・成田とのダイレクトアクセス、パシフィコ横浜を核としたMICE施策、港町横浜らしい水辺の豊かな都市環境等を活かした国際競争力の強化が求められる。

3. 『まちづくりの戦略』における優先的な取組み(案)

国際社会が認める災害安全性の実現

<取組み1>

防災インフラ整備の推進

<取組み2>

地域防災機能の強化

<取組み3>

帰宅困難者等支援の強化

世界が選ぶ国際交流都市の実現

<取組み1>

横浜駅機能の強化

<取組み2>

都心部のMICE施策を活かした機能集積

<取組み3>

魅力ある都市環境の充実

※MICE: Meeting、Incentive Travel、Convention、Event/Exhibition
の頭文字をとり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

4.『まちづくりの戦略』における優先的な取組み(案)のイメージ

国際社会が認める災害安全性の実現

<取組み1>

防災インフラ整備の推進

- 公共インフラ、地下街も含めた民間施設の耐震化、治水対策等を推進
- 災害時のライフラインを確保するための代替機能の確保を推進
- 発災時にも地域のエネルギー自主性を担保できる分散型・低炭素型エネルギーマネジメントシステム構築を推進

<取組み2>

地域防災機能の強化

- 一時滞留スペース等の確保を官民連携により推進
- 災害時における避難動線の確保
- 災害時に情報や物資等を提供するために必要な機能の導入・強化

<取組み3>

帰宅困難者等支援の強化

- 官民協働による地域ルールの策定および実行
- 各企業のBCP策定を促進し、まちと企業が一体で災害安全性確保を推進
- 災害時の情報弱者に対する支援体制強化

※BCP: Business Continuity Plan
事業継続計画の略

世界が選ぶ国際交流都市の実現

<取組み1>

横浜駅機能の強化

- 駅構想図へ集約する施策を通じた利便性向上、混雑緩和、バリアフリー化及びユニバーサルデザインの推進
- 羽田空港・成田空港の運用にあわせた空港アクセスの実現

<取組み2>

都心部のMICE施策を活かした機能集積

- パシフィコ横浜を核とした横浜都心部全体のMICE施策を補完する機能導入や、一体的な管理運営
- グローバル企業の誘致やビジネス支援機能の充実

<取組み3>

魅力ある都市環境の充実

- 水辺を活かした快適で健康的な都市環境、魅力ある都市景観の形成
- 市民や企業が誇れる環境負荷低減の取組
- 利便性向上のための生活支援機能の充実

今後、都心部全体での連携を図るとともに各分野での施策の具体化の検討を推進する。